

港区まちづくりマスタープラン 意見交換会ニュース

芝浦港南地区
No.3
2016.1.18

◆◆現行計画でのまちづくりの状況◆◆



芝浦港南地区での第3回意見交換会を開催しました

平成 28 年 1 月 18 日 (月) の 18 時 30 分から芝浦港南区民協働スペースで、港区まちづくりマスタープランについての芝浦港南地区での第 3 回意見交換会を開催しました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



第 1 回意見交換会での「地区の魅力と課題」についてのご意見、第 2 回意見交換会での「港区は今後どのようなまちになっていくといいか」についてのご意見をふまえ、第 3 回意見交換会では、「課題解決や魅力推進のための取組」について意見交換しました。

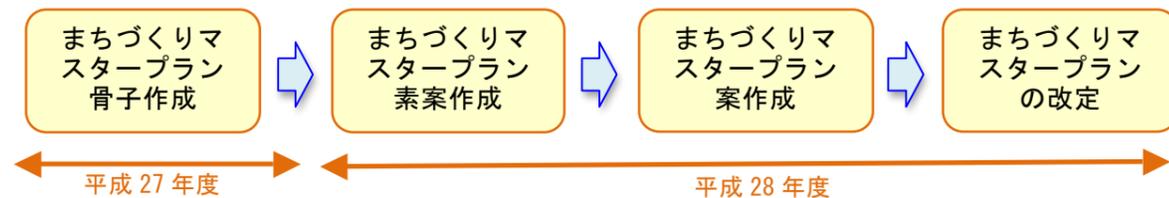
出された意見を模造紙にまとめ、最後に振り返りを行いました。意見の詳細は裏面をご覧ください。話し合いは 1 時間程度でしたが、意見やアイデアを出し合って、活気ある話し合いになり、時間通りに終了することができました。

今年度開催した全 3 回の意見交換会においていただいたご意見をふまえて、まちづくりマスタープランの改定骨子を作成しています。

改定骨子が出来上がりましたら、区民の皆さんのご意見を広くお伺いするパブリックコメントの募集をします。来年度は、改定骨子を基に素案、案を作成し、平成 29 年 3 月改定を目標にしていますので、今後も引き続きご協力の程よろしく申し上げます。

◆◆まちづくりマスタープランの改定スケジュール◆◆

まちづくりマスタープランは以下のようなスケジュールで改定する予定です。



まちづくりマスタープランや意見交換会について感想やご意見などお寄せください！
 また、意見交換会への参加者を引き続き募集していますので、ご希望の方はご連絡下さい。
 港区 街づくり支援部 都市計画課 街づくり計画担当
 TEL 03 (3578) 2235、FAX 03 (3578) 2239
 〒105-8511 東京都港区芝公園 1-5-25 (港区役所本庁舎 6 階)

まちづくりマスタープランとは

- おおむね 20 年後を目標とするまちの将来像やまちの基本的な方針などを示すものです。
- 区全体のまちの将来像と地区別の特性に応じたまちづくりの方針で構成されています。
- 都市計画や建築、交通などのハード面に限らずバリアフリー、子育て、緑、環境、防災、防犯などのソフト面を含めた計画です。

意見交換会とは

- 地区ごとに開催し、区民の皆さんからきめ細かな地域の情報や実情などを伺い、その地区の課題や計画内容について話し合う会です。
- 平成 27 年度に予定していた意見交換会は、今回で終了しました。平成 28 年度の意見交換会の開催については現在検討中です。開催が決まりましたら広報・HP 等でお知らせいたしますので、ぜひご参加ください。

芝浦港南地区で行うべき様々な取組のご意見が出されました

※意見交換会の内容を要約・整理して掲載しています。

抜本的な大きな変化を

- ・細かい取組ではなく、大きな抜本的な変化が、芝浦港南地区には必要である。例えば、用途地域は準工業地域だが、近年はマンションも増え、住民も増え、現状とそぐわなくなっているのではないか。
- ・都市計画のルールにつながるような取組が必要である。

水辺について語り合う場を

- ・今後、芝浦港南地区は開発が進むと思う。事業者との連携が必要になる。
- ・水辺の活用について、住民、事業者、区など皆で戦略的に語り合う場を設けて欲しい。

まちづくり組織をつくる

- ・芝浦港南地区には、まちづくり組織がない。
- ・まずは区に支援してもらいながらまちづくり組織を作りたい。(運河沿いを中心にその沿道をエリアとする面白いかも知れない)

運河沿いのにぎわい創出

- ・運河の柵があることは仕方ないが、上手くにぎわいが連続するような仕組みを作れないか。
- ・現状は面白くない。
- ・緑の連続化は良いが、運河沿いに限っては分断要素になってしまうため、沿道と一体となったにぎわい創出の面では、良くないのではないか。
- ・運河沿いの水辺でイベントを開催する。
- ・魅力あるスポットをつくる。
- ・コンビニ需要はあると思う。コンビニでもにぎわいの種になる。
- ・にぎわいの点を多く生み出して、線になり、面になるまちづくり。

開発時に合わせて、計画的に

- ・開発の機会を捉えて、まちのにぎわい創出につながる取組を仕込む。
- ・運河沿いに、広場や緑地が一体となった空地を設ける。
- ・旧耐震の建物の建替え時がチャンス。
- ・銀座ルールのような、建築に関するルールをつくり、利用者・事業者の双方がWinWinになるような制度を。

JR新駅の東西の連携

- ・線路が港南側に集約されるため、結局高輪側との分断は未解消になるのではないか。
- ・開発されるのは高輪側なので、港南側に人が流れるかわからない。

平常時の利用と災害時の利用をバランス良く

- ・運河の活用として、水上バスの可能性があるが、日常時と災害時の抱き合わせで考えていくべきだ。
- ・芝浦港南地区を東京都全体の防災拠点にする。
- ・防災さん橋、防災倉庫、防災公園、防災船着場の整備

＜地区のまちづくりの現状等＞

